

(別紙4-1)(ユニット2)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	019300072		
法人名	株式会社 すまいるふらの		
事業所名	ごりょうの丘グループホーム イチョウユニット		
所在地	富良野市字下御料		
自己評価作成日	令和4年9月7日	評価結果市町村受理日	令和5年4月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0193000072-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	合同会社 mocal
所在地	札幌市中央区北5条西23丁目1-10-501
訪問調査日	令和4年9月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様個々の思いや考え、笑顔・安心して生活できる場所を創る。グループホーム目標に対して力を入れ取組みを実施している。ごりょうの丘グループホーム周囲は桜が満開になる朝日ヶ丘公園、富良野スキー場が見渡させ大自然に囲まれており静かな環境に立地しております。今年度も新型コロナウイルスが流行、面会なども状況を見ながら面会や外出を実行、地域との交流なども今年は実施しております。今後も、利用者様個々の趣味や嗜好などに合わせた取組み、行事なども取り入れながら心身機能の低下に留意・維持などに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)		1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 利用者の2/3くらいが			○	2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある			○	3 たまに
			4 ほとんどない				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1 大いに増えている
			2 利用者の2/3くらいが			○	2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が				
			2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・理念・グループホーム目標を踏まえ、職員全員が向上心を持ち日々実践に取り組みをしています。 来訪者にもみて頂けるよう掲示してあります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の方と交流を持ち、7月には神社祭を実施。町内会のふれあいサロン、運動会などにも参加させて頂き交流させていただいています。		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、介護職講習会等地域の方も参加できる研修を開催しています。		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・定期的に行っており、自治会長、民生委員役員、市の担当職員、入居者様、ご家族様です。行事や現状活動、事故報告、看取り報告などをし、アドバイスなどを頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・運営推進会議に参加していただき、貴重なアドバイスをいただいています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・夜間防犯上の施錠は行っておりますが、それ以外の時間帯は常に開放し出入りは自由となっています。外にお一人で居られる場合は職員が付き添うようにしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	・日々の介護、支援での言動を職員間で注意し、また、入居者様の身体状況の変化などに注意深く健康チェックし、特変は報告、記録、対応をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・社内研修に参加し権利擁護に関する知識向上を目指している。又、日々の暮らしの中で必要性があるリスクが考えられる時点で相談ができる体制をとっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居者様、ご家族様に対しわかりやすく説明させていただき、いつでも質問、疑問に細やかな対応を心がけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議で質問や・要望などの意見交換を行っています。又、ご質問・ご意見用紙を郵送し返送してもらい運営に反映させていただいています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回のユニット会議で意見交換や提案を聞き、仕事がしやすい環境を整えています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・定期的に個人面談を実施。意見を聴取して職場環境の整備をおこなっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・内部研修、外部研修に参加できる機会を確保している。個人目標を決め自らスキルアップの努力を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	・他施設の見学、また、見学の受け入れ・地域ケア会議の出席により交流を深めています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前に面談させていただき、ご本人様の普段の生活を聞き、入居前となるべく変わらない生活を送って頂けるように配慮し、信頼関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居前にご家族様の話を伺い、ご家族様の思いや要望をお聞きます。心配事苦情はいつでも対応させて頂くことをお伝えしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ご相談を受けた段階で双方のお話を伺い、課題抽出と分析を行い、見学など来て頂く。サービス利用を視野に検討します。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・日々の生活の中で、職員も家族の一員として共に生活を楽しみ入居者さんの出来る事を負担にならないところまで、一緒に行い豊かに暮らして頂けるよう支援しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族様と協力し、入居者様を支える関係を築ける努力をしています。入居者様の生活の報告、月に一度のホーム便りを送り家族との関係が途切れないように心がけています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、活動制限はあるものの、オンラインの活用などによりこれまでの関係が途切れないよう支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・居室で一人の時間にならない様に、体操、掃除などの家事のお誘いをし、共に過ごす心がけを行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院され退居された方には、お見舞いに行かせていただいております。退居された方にも運営推進会議や行事などにお誘いし交流する機会を持っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご家族様に昔好きだったこと得意だったことを伺ったり、ご本人様との日常会話や様子から思いや希望をくみ取り、月に一度のユニット会議で話し合いご本人本位の支援を検討しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・新入居時にご本人様・ご家族様に生活歴・性格をしっかりと聞き取りを行い全職員で周知し日々の暮らしのベースにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個別の介護記録に日々の状態を記録し総合的に把握し努めています。変化のあったことは朝のミーティングでも伝え、情報共有し支援に繋がっています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・入居者様からは日常生活の中で、色々な話を聞かせて頂いている。その情報を集約しユニット会議で検討、ご家族様と話し合い、介護計画に反映しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個々の様子、食事量水分量排泄の状況、睡眠バイタル保清等のケア内容を記録しています。その中で気づいたことなどを職員が共有し実践に活かせるようようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・複合施設である事を活かし、利用者様のニーズに合わせた事業所の選択、サービスを受けられるよう対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の方、ボランティアの協力を頂きながら本人の持っている力を発揮できるよう支援しています。町内会のゴミ拾い等にも参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご本人様、ご家族様の希望に応じて適切な医療を受けられる支援を心がけています。必要に応じて看護師の同行、往診等でも対応しています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・常勤の看護職員配置しており、協力医療機関の医師と連携を行い、健康管理について相談をしています。緊急時は医師から指示を頂ける連絡体制を確保している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・本人及び家族等の希望を尊重しながら、看護師が十分話し合いを行った上で、適切な医療を受けられるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	・重度化した場合の対応について、ご利用者様、ご家族様の意向を確認し、多職種協議により継続的支援を図ります。医療機関と24時間体制の連携が取れています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・新人研修に救命救急講習を取り入れ、全職員が実践力を身につけている。また、AEDを設置し、急変時に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年2回の日中と夜間を想定した避難訓練を行っています。地域の方にも炊き出しボランティアなどで参加していただき、協力を得ながら様々な場面に対応できるように訓練している。また、他の施設からの災害被災者の受け入れも行い、運営推進会議で報告し、今後に向けてのアドバイスなどを頂いております。		

Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・人生の先輩として尊敬の気持ちを持ち、ご本人の話を傾聴し考えや希望をくみ取れるように、誠意ある対応に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・わかりやすい会話を工夫し、希望や思いを確認しご本人の意思を尊重しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	・その日の体調に合わせて起床時間、食事時間、内容を多様に対応しています。個々の希望に出来る限り沿って生活して頂ける支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・月に1度理容師による訪問があり、希望者は利用できる。家族と馴染みの美容室に行ける環境も整えています。朝、入浴時には一緒に好みの服を選んで頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・夏には中庭の畑で育てた野菜を収穫し、調理に使い楽しんで頂いております。ご本人様が自発的に準備や片付けに参加された時には一緒に支援しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・毎食の食事量・水分量を記録に残し、少ない方へご本人の好みに合わせた物を提供し不足しないよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後声掛けを行い対応しています。歯科医師による往診、馴染みの医院での送迎も行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄パターンを確認し、情報を共有し自立に向けた支援に結びつくように努めています。失禁されても尊厳保持に対応させて頂いております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・乳製品、野菜ジュースなど食物繊維を意識して提供しています。又、定期的な運動の支援や看護師による下剤の調整も行い、自然排便に向け便通調整に心がけています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	・利用者個々の希望と、体調等を考慮して、全利用者が入浴を楽しめるよう支援している。また入浴中の事故や急変等が起きないように個々に沿った支援を実施。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・生活習慣を大切に、傾眠されている方には横になれる声掛けを行い適度な時間で起きて頂ける工夫をしています。夜間頻尿な方には、ご家族様と相談し受診などを考え安眠の支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人一人のお薬情報、薬の内容、副作用、通院時の変更を看護師から介護員へ伝え、情報を共有し支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・毎日の生活の中で得意なことが役割として持てるよう自然な支援を心がけている。嗜好品やご意見を伺い、行事等でリクエストされた食べ物を提供しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・今年度はコロナウイルス感染拡大防止により、自粛が多かったが利用者個々の希望に沿って、外出を実施している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご本人の金銭所持はご家族様と相談させて頂き、個々に合った支援を行っています。施設内には自販機、売店もあり自己管理されている方には自由に買い物が行えます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご家族様同意のもとに希望に応じ、電話連絡ができるよう支援しています。手紙を書く方は少ないが年賀ハガキを出す方には郵便番号を調べるなど支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節に応じて、利用者と一緒に作品を作り季節感のある装飾をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・プライバシーを大事に過ごせる小スペースがいくつか作られている為、お一人の時間を作る空間もあります。廊下続きの交流館では、コーヒーなども楽しめる工夫がしてあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居前に「持ち物リスト」をお渡しして、その目的等も十分に説明した上で、馴染みの物を居室にお持ち頂くようお願いをして、心地よく過ごせるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・出来る事、わかることを見極め、ご本人の出来る事をさりげない支援で行えるよう声掛けさせて頂いています。		